

大日向の季節がひとめぐり

佐久穂町イエナプラン スクール設立準備新聞

第六号
発行元
一般財団法人佐久穂町
イエナプランスクール
設立準備財団

「夏のがっこう」を
開催しました。

八月四日に、イエナプラン教育体験プログラム「夏のがっこう」を開催いたしました。

去年の八月に初めての「季節のがっこう」を開催してから、秋・冬・春と回を重ね、今回での開催で季節がひとめぐりし、二巡目となりました。

このように継続して「季節のがっこう」を開催し、大勢の参加者の皆さまをお迎えすることができると、地域の皆さまの多大なるご協力あつてのことです。改めて、御礼申し上げます。今回は、四歳から小学校六年生までのお子さまが四名、保護者の方が六五名、スタッフを合わせて約一二



〇名が集まりました。

全国各地から猛暑の様子が伝えられるなか、標高が八〇〇メートルを超える旧佐久東小学校のあたりも、かなり気温の高い日になりました。それでも、子どもたちが訪ねた乙女の滝の近辺では、水も冷たく、木陰では涼しく感じられるほどでした。

今回は、大人も子どもたちと同じように、イエナプランの学びを体験していたく一日になりました。

「夏のがっこう」の テーマ

今回の「夏のがっこう」の子どもプログラムのテーマは「環境と地形」でした。山があり川もある、起伏に富んだ地形の佐久穂町の環境の中で、今回は、「乙女の滝」を学びの舞台に選びました。実際に乙女の滝に足を運び、河原を歩き、石や流木、川の流れに触れながら、生まれくるたくさんの「問い」を教室に持ち帰りました。



子どもプログラム (午前の活動)

四歳〜六歳のグループは、絵本の読み聞かせからスタート。絵本を一緒に読みなながら、今日はここにいるみんなと過ごすんだなあ、面白そうだなあという気持ちになっていったようです。

その後みんなで輪になってサークル対話。まずは自己紹介から。サークルの真ん中には数々の石が置かれています。石を眺めたり触ったりしていましたが、足やオットセイに見える石があるのを見つけたのをきっかけに、石を何かに見立てる「これはなんでしょうゲーム」が始まりました。

その後、出かける準備をして乙女の滝の下流域へ。このグループの川での目的は「お気に入りの石を見つけないくらい石を集める子もいました。」

小学校一、二年生のグループは、教室に集まると、きれいな輪になって座り自己紹介からスタート。山の上から水が湧き出て海に流れていく様子が横長の一枚のページに描かれた絵本の『かわ』を読みながら活動のイメージを膨らませます。そしてこの日のキープアイテムである「石」について紹介しますが、この時には何人かの子が前のめりになって石に興味を示し、目を輝かせていました。その後バスに乗って乙女の滝のエリアへ。お気に入りの石を一〇個持ち帰ります。「これは鉄分を多く含んだ石だ！」と石の成分に関心を持つ子もいれば、化石を発見した子もいました。





子どもプログラム
(午後の活動)

小学校三年生以上のグループは、一人一人がそれぞれ取り組む午前中のミッションを書いたカードを作ってから、乙女の滝に出発。現地では、「いちばん年上の石を見つける」「過去や未来のことを聞いてみたい石を持ち帰る」など、それぞれのミッションに取り組みました。

教室に帰って、自分が何をしてきたのか、どうしてそれを選んだのかななどの情報交換。「いちばん年上の石」と判断した理由として、「苔がついていた」「大きくて動かない」「ほかの石より小さい(ずっと削られて、その小ささになった、という意味)」と言った意見がありました。

ランチタイムの後は、午前中の活動から生まれた問いを集めたり、問いを解決したり、さらに興味を持ったことをさらに深めたりする活動をしました。

四歳〜六歳のグループは、まずは持ち帰った「お気に入り石」をじっくり観察。そのお気に入り具合を、どんな風に伝えようかを考えました。

色を塗ってみたいという子、紙の上に並べたいという子、草花や折り紙でかざりつけたいと言う子、一人ひとりが、どう「お気に入り」を伝えたいかを話し、それぞれのお気に入りを形にする活動を始めました。青い石にしようとすぎ間なく色を塗る子もいれば、石の特徴を活かしてちょっとだけ色を足す子もいて、思い思いの方法で楽しそうに活動を進めました。

一年生と二年生のグループは、拾ってきた石を使って、一人一人異なるそれぞれの見方でランキング形式の作品を作りました。石の形、色、模様などに注目しながら、思い思いに作品を作っていました。「不思議に思ったことは?」「石の気持ちにならなかったらどんなことを言う?」などと考えながら、画用紙に表彰台を描いて作品を仕上げていきました。

それぞれが自分の感じたことを自分の感性で表現していて、子どもの発想には驚かされます。

三年生以上のグループは、「石がどんな成分でできているのか?」「石の中はどんな感じなのか?」「石の表面を観察して絵をかきたい」といった、自分の問いややりたいことをみんなで共有してから、活動を始めました。ルーペやスコップで観察する、観察した様子を絵に描く、本で調べて紙にまとめる、サンドペーパー

で磨くなどの活動を進め、次々に生まれる新たに出てきた問いに取り組む子もいました。

最後にもう一度ランチルームに集まって、今日一日の発表と振り返りをしました。

子どもたちは、ベンチにそれぞれが作ったものを並べ、見に来てくれた大人たちからの質問に答える形で発表しましたが、その姿はたくましく、また微笑ましいものでした。



大人向けプログラム

今回の夏のがっこうの「大人プログラム」は、保護者の皆さまにもイエナプラン教育を体感していただけるような内容にさせていただきました。

午前中は、ブロックアワーの体験として次の四つのプロジェクトからそれぞれ学びたいテーマを選択してもらいました。

- ① 大日向ルールブックプロジェクト
- ② 大日向サラダバープロジェクト

③ イエナプラン理解プロジェクト

④ 移住ハンドブックプロジェクト

選択したプロジェクトには、「学ばなければならぬこと」がいくつか提示されており、協働的な個別学習の時間として過ごしていただきました。

各プロジェクトには、大日向地域の各区長さんや、大日向地域で野菜を作り提供してくださった方、そして佐久穂町役場の移住促進担当の方、イエナプラン教育協会の代表など、専門的な情報を持っている方々がサポートについてくださり、そのほかにも、書籍やインターネットなどを活用してそれぞれが学ぶ時間となりました。

短い時間の中で、プロジェクト毎に、学んだことを個人で整理しつつ、情報の集合体として、大日向ルックブック、サラダバー、イエナプランスクールで育つ



子どもたちはどんな大人になるか、移住ハンドブックなどが出来上がったことに変化を感じました。

午後は、ワールドオリエンテーションの体験として、午前中に学んだ基礎的な情報を持ち寄った上で、四グループに分かれて、「大日向小学校を【誰もが、豊かで幸せな世界をつくる学校】にするために私たちができること」というテーマで話し合い、整理しました。子どもたちが一日の学びを催しの時間に共有する際

に、保護者の皆さまにも「私たちができることは何か」を共有していただいたのですが、全てのグループの発表から、学校をつくっていくことそのものを「自分ごと」として捉え、話し合ってくださいましたことが伝わりました。そして、イエナプランスクールのコンセプトの一つでもある、「共に生きることを学ぶ」ということを、保護者の皆さまにも望んでいただけているのだということも実感いたしました。

学校は、子どもと職員だけでつくるものではなく、やはり、子どもを中心に、保護者や地域の方々と共につくっていくものである、ということを感じ、それは現実としてできるものであると確信した一日となりました。

ご協力くださった皆さまには、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

設立準備に関するお知らせ

◆ 学校法人設立の申請書類提出について

二〇一九年四月の開校に向けて、六月二十八日、学校法人と小学校設立のための申請書類を長野県私学課に提出いたしました。

一〇月に審議会が開催され、一二月に認可が下りる予定です。

◆ 校庭の遊具と校舎のりフォームについて

先日、校庭の遊具の点検を実施したところ、非常に残念ではありますが、ジャングルジム以外は老朽化のため継続使用は控えた方が良く判断いたしました。今後、遊具をどのようにするかは別途検討いたしますが、当面はロープなどで固定して使用を控えるようにいたします。

また、今月から校舎のりフォーム工事も本格化いたしますのでご留意いただければと思います。車両の出入りなど、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

◆ 「校舎周りの景観や造園について考える会」の実施について

来る九月二十日に、次の要領で、校舎周りの景観や造園について考える会を実施いたします。

・日時 九月二十日(木)

一三時～一五時

・場所 旧佐久東小学校

・内容 二〇一九年四月開

校予定の大日向小学校の校

門から校舎入り口までのエ

リアを、どのように形作っ

ていくのが望ましいかにつ

いて話し合う

どなたでもご参加いた

けますので、ぜひお気軽に

お越しください。

夏のがっこう 写真館



ご協力いただきありがとうございました！

大日向区長の皆さま・ジーバ共和国の皆さま・千曲病院の看護師の皆さま
佐久穂町役場 総合政策課の皆さま・佐久穂町の皆さま

「秋のがっこう2018」を開催します。



皆さまのご協力のおかげで、「夏のがっこう」も大勢の参加者の皆さまをおむかえし、楽しく充実した一日を過ごすことができました。

次の「秋のがっこう」は十月二十八日(日)を予定しています。校舎のリフォーム期間と重なっているため、八千穂福祉センターをお借りして、「共に生きる」をメインテーマに開催する予定です。

佐久穂の深まる秋を感じつつ、新しい学校での学びを十分に味わっていただける一日にしたいと思います。佐久穂町の皆さまには、引き続きご協力のほどどうぞよろしくお願いたします。